

第 35 回大会自由研究発表演題一覧

座長：宮崎清恵（神戸学院大学）/笹岡眞弓（日本医療大学）/榊原次郎（名寄市立大学）

（順不同）

医療・介護の連携推進を目指した多職種協働演劇活動の取組み～「医療介護福祉の地域連携尺度」調査を試みて～

木村和弘(NPO 法人エナガの会) オンライン発表

医療的ケア児の受け入れに関する保育施設の現状と課題

立花直樹（関西学院短期大学）

テキストマイニングによる小児がん患児が復学時に抱える思いの検討

上山美津穂（京都大学医学部附属病院）

医療的ケアを要する重度障害者と行政との対話をめぐる MSW 実践～地域生活を支える障害福祉サービス支給決定の手引書改定過程に焦点をあてて～

高波千代子(医療法人稲生会), 巻 康弘（北海道医療大学）

抑圧された環境下におかれた高次脳機能障害のクライアントに対する自己決定支援

玉川侑那(北海道大学病院)

医療ソーシャルワーカーによるアルコール依存症患者の支援プロセスの可視化—統合 TEM 図分析から—

野村裕美（同志社大学），浅野正友輝（トヨタ記念病院），南本宜子（京都済生会病院），
稗田里香（東京通信大学）

ソーシャルワーク実践において発生するジレンマの特徴とその対策について

村尾直也(独立行政法人国立病院機構 南九州病院) オンライン発表

診療所ソーシャルワーカーによる予防的支援実践評価尺度の開発と支援促進要因の検討

榊原次郎(名寄市立大学)

日本におけるソーシャルワーク実践評価およびその研究課題

丸山正三（日本医療大学）

医療ソーシャルワーカーが陰性感情を有しながらもクライアント支援を続けるプロセス」

渡邊早智

スーパーバイザー養成を目的とした職場内グループスーパービジョンの試み

- スーパーバイザーとしてのアイデンティティを確立し、職場内スーパービジョン体制の構築を目指して -

恒吉麻実子（支援者支援 Lab. ），保正友子（日本福祉大学）

ソーシャルワークとメンタライゼーション

小山愛加（同志社大学社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程）

医療ソーシャルワーカーのソーシャルワーク実践に影響を与える組織的要因の研究－病院組織とソーシャルワーク専門職性に焦点を当てて－

鹿山誉史（長崎純心大学大学院人間文化研究科福祉文化専攻博士前期課程） オンライン発表

ソーシャルワークにおいて体験をともにすることの意義についての考察

山本啓太（国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター）

災害支援を巡る支援者の語り－日本とイタリアの比較をもとに－

岡田多恵子（全国社会福祉協議会）

令和6年能登半島地震で被災した患者・家族の生活問題と課題－仮設住宅入居後の半構造化インタビューによる SCAT 分析－

島野麻里子（医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター金沢循環器病院）

生活保護受給世帯の子どもに対する健康支援に関するケースワーク実態の分析－健康支援の要否判断に影響する要因と連携困難の実態に着目して－

小出 直（新潟医療福祉大学）

ソーシャルワーカーによる救急搬送患者への介入方法に関する後方視的検討－効果的・効率的な早期介入を目指して－

萬谷和広（国立病院機構 大阪南医療センター）

労災保険制度の申請手続きにおけるソーシャルサポートの有用性－石綿健康被害者に対するアンケート調査を通して－

福神大樹（兵庫医科大学）